

古賀ゆきひと議員

本会議で代表質問

参院本会議で3月8日（水）、古賀之士議員が所得税法改正案の代表質問を行いました。

まず、北朝鮮の弾道ミサイル発射について暴挙と厳しく非難。日本の対応と拉致問題解決の意思を安倍総理に問いました。

次に森友学園問題について、国の貴重な財産の処分がずさんな問題視。政治家からの働きかけについて調査するかと迫りました。安倍総理は「適正に手続きが行われ、価格は適切な算定された」と調査しないと答弁。

税法では、配偶者控除の問題に言及。働き方の選択に中立との効果を疑問視したうえで、今回の配偶者特別控除の150万円への拡大により就労時間を増やす配偶者の数と増える時間数について質問しました。

麻生財務大臣は、「就業調整は税制や社会保障制度のみならず、民間企業の配偶者手当の支給基準など複合的な要因が存在するため、効果を定量的に見積もることは困難」と答えました。

古賀議員は、「デフレ脱却に当たっては賃上げが重要かつ必要」としたうえで、本法案にある所得拡大促進税制の見直しによる賃上げ額の見込みについて質問しましたが、財務相は「経済全体の賃金引き上げのなかで、今般の税制効果のみを取り出すことは難しい」「インセンティブ機能を強化することで一定の効果がある」と答えるにとどまりました。

MINSHIN
号外 *Press*

2017年3月20日

通常号 定価1部200円(税込み)

民進党 民進プレス編集部

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 電話：03-3595-9988(代表) メール：press@minshin.or.jp URL：https://www.minshin.or.jp



福岡県が最低だった補助金を是正

国が地域区分を廃止、統一へ

保育園などの施設をつくる際、国から補助金が出ます。あまり知られていないのですが、この補助金の計算には全国で4段階の地域的な区分があり、福岡県はなんと最下位でした。しかも長い間変更がなかったようで、こうした状況はとても認められません。最高ランクと比べると、約16%も低い額が算定されていたこととなります。

昨年、県議会の民進党系会派によって問題提起がされ、古賀之土参議院議員が厚生労働省・文部科学省の担当部局を呼んで議論し、早急な是正を求めました。「なぜこのような結果となっているのか。納得できる積算根拠を示してほしい」と問いましたが、「古い資料なので見当たらない。理由は分からないが検討したい」との回答でした。

今年2月に入り、両省から、「来年度から地域区分は廃止して統一する」との通知がありました。保育所などの関係者や利用する県民にとって、大きな前進と言えるのではないのでしょうか。今後とも引き続き、身近な問題の解決に取り組んでいきますので、「これはおかしい!」と感じていることがあったら、遠慮なく事務所まで相談してください。

ODA調査で東南アジアへ

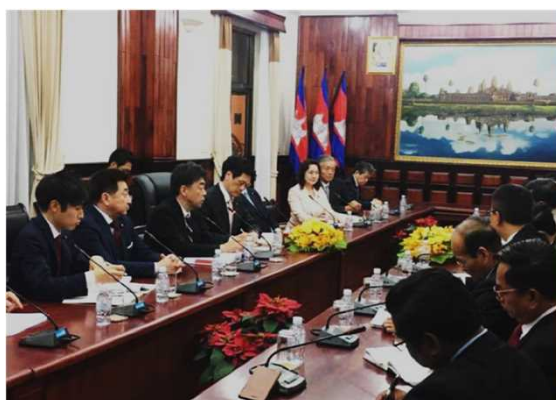
2月16日(木)から23日(金)にかけて、古賀之土参議院議員はODA(政府開発援助)の現地調査として、カンボジア、シンガポール及びミャンマーを訪ねました。

最初の国、カンボジアでは、国会議員団と意見交換(写真左)。これまでのインフラ整備に加え、人材教育に期待されていることが印象に残りました(写真右)。

地方視察も行いましたが、道路の状態に悩まされました。ところが、日本のODAによる舗装道路は明らかに違い、高い技術力を実感しました。

その後に行ったアンコールワット遺跡では、日本人技術者も協力して修復が行われていました。内戦の傷跡である弾痕も見られ、歴史の豊かさや厳しさの両方を実感させられるところです。

なお、カンボジアでは水道事業の援助を行っている北九州市の存在感がありました。



日本による援助のシンボル、「つばさ橋」も訪問。物流が飛躍的に向上し、フェリーが廃止されたほどです。

次の国シンガポールは、援助される側から援助する側になったモデルケースです。1人当たりのGDPはすでに日本を追い越しており、アジアでNo.1の評価を受けるシンガポール大学など、教育水準の高さでも有名です。人口は約500万人と福岡県とほぼ同じですが、外国人が150



万人を占める国際国家です。三番目の国は最近注目されているミャンマーです。旧首都のヤンゴン、福岡市の姉妹都市から視察を開始。ここでもやはり教育に力を入れていて、日本人の協力で教科書を制作していました。

次に、海外産業人材育成協会の同窓会を訪問。約58年の歴史を持ち、世界で38万人が研修を受けています。卒業生として意見交換した3人も指導的存在であり、技術協

力の確かな証拠でしょう。古賀議員は「今回の調査は、大使館やJICA、日本企業やNGOなど、様々な協力の下で行われました。感謝するとともに、現地の声をしっかりと国政に反映します。」

なお、祖父が戦死したのはミャンマーであり、初めての訪問で不思議なご縁を感じました」と語りました。

新春の集い 盛会御礼

2月5日(日)に福岡市と久留米市でそれぞれ開催した「新春の集い」は、盛会に終了することができました。

お礼のご報告をさせていただくとともに、今後ともよろしくお申し込み申し上げます。



党員・サポーターのお願い

多くの方からのご支持が、政治家として力を発揮する源泉となります。民進党の党員・サポーターとして、古賀之土参議院議員と力を合わせて一緒に政治活動を行っていただけないでしょうか。ご登録を心よりお願い申し上げます。

【党員】民進党の基本理念・政策に賛同する18才以上の日本国民。
党費は年 6,000円。党の運営や活動、政策立案に参加できます。
党機関誌「民進プレス」をお届けします。

【サポーター】民進党を応援する18才以上の方。
会費は年2,000円。党の講演会やイベントに参加できます。

※詳細は植村・田中まで 092-433-0553

発行所：民進党福岡県参議院選挙区第1総支部

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-19-14 ビーエスビル博多7F-E
TEL:092-433-0553 FAX:092-433-0552

参議院議員 古賀ゆきひと